

## 令和元年度 第3回学校運営協議会記録

1. 日 時 令和2年2月10日（月）14：20～15：50
2. 場 所 本校校長室
3. 出 席 廣木義久 委員（座長） 大阪教育大学 教授  
木下由季 委員 八尾市立八尾小学校 校長  
児玉 隆 委員 学習塾 代表  
松村康隆 委員 本校同窓会 副会長  
外山昭則 委員 本校PTA 会長  
※ 牧野好秀委員（八尾市立成法中学校長）は欠席

4. 協議概要 『平成31年度学校評価』『令和2年度学校経営計画』について校長から説明後、協議を行い、令和2年度の学校経営に係る基本的な方針について委員の皆様から承認をいただきました。その後平成31年度学校教育自己診断、授業アンケート結果、今年度の進路状況や学校広報などについて報告後、協議を行いました。

以下、協議において出席委員から出された主な意見です。

（学校教育自己診断について）

○広報活動などで評価の高い数値は利用すべきでは？

○ホームページが刷新され、最新情報が多く載っている。更新頻度が高いことは良いことで、閲覧する意義がある

（授業アンケート）

○小学校では授業の決まりは担任によってバラつきがあるが、守っていくべきことなどのスタンダード作りを大事にしている

○単に理解できているだけでなく、発信力も必要ではないか

（進路指導について）

○今年の進路指導は難しいと思うが第1志望を貫く考え方は大事にしてほしい

(学校広報について)

- FM ちゃお（八尾の地域 FM ラジオ）を通じた情報発信は画期的で、継続とさらなる充実に期待している
  
- 志願倍率を広報活動の指標にしたのは評価できる。現時点で高い倍率を示しているのは広報活動の成果だと考えられる
  
- 八尾高校を志望する中学生は校風に魅力を感じていることが多いと思われるので、八尾高校の校風が伝わるように、八尾高校ホームページの【中学生の皆様へ】のコーナーでは、体験入学などの案内だけでなく、学校生活などの八尾高校の楽しいところ、魅力というような項目を作るものひとつではないか。アピールできる部分（文化祭や体育祭、クラブ活動など）をもっとアピールできるようにする必要がある
  
- 文化祭やパンフレットなどは非常に魅力的である。それを HP にホームページにいかしたらいいのでは？
  
- ホームページを充実させ、説明会などの参加の際にまずホームページをみるような流れを作る必要がある
  
- 大阪教育大学の特別推薦枠は、八尾高校の魅力の一つに成り得る
  
- 保護者としては、よく面倒を見てもらったと感じている。安心できた学校だった。これをうまく中学生の親に伝える方法を考える必要がある。
  
- 中学生の親が説明会に来る際に、在校生や卒業生の保護者に話をしてもらうのもひとつではないか？
  
- ホームページに中学生の保護者のみなさまへというコーナーを作り、YouTube で話してもらうのはどうか。やはり保護者から保護者への方が伝わりやすい。たくさんの保護者のからのメッセージがある方が、送り出す親も安心できるのではないか？やはり文字より動画の方が伝わりやすい。

教職員の任用に関する委員の意見として「現在の八尾高校の取り組みをさらに充実させる意欲のある教員を配置すること」が挙げられ、協議会として承認された